



たてわり班での給食

校長 瀧嶋 克己



【 お別れ給食 】

弥生3月。平成27年度も締めくくりの月となりました。特に6年生にとっては特別な月となります。「卒業まであと〇〇日」のカウンタダウンが教室に掲げられ、残りの小学校生活を一日一日と大切に過ごしています。中学校へ向けた期待と不安が混じり合っていることでしょう。小竹小学校で学んだことをこれからの生活でも活かしてほしいと思います。

さて、今の子供たちから「3つの間(ま)」「さんま)がなくなった。という話を聞いたり、目にしたりされた方もいらっしゃるかと思います。「3つの間(ま)」とは「時間(遊ぶ時間)」「空間(遊び場)」そして「仲間(遊ぶ友達)」を指します。

懐古主義的になりますが、私が小学生の頃、空き地や路地裏で近所の学年が異なる友達と缶蹴りなど日が暮れるまで遊んだことを思い出します。遊びの輪の中には、まだ小学校にも上がらない小さな友達や兄弟も混ざっていました。小さな子には約束やルールを簡素化し、手加減しながら一緒に遊びました。遊びを通して約束やルールづくり、年相応の振る舞いなどを学び

ました。

現在は習い事やゲーム、不審者等の問題もあり、街中で子供の遊ぶ姿を見かけなくなってきました。「限られた時間」「安全な遊び場の確保」「少子化」と子供を取り巻く環境が大きく変わってきました。

本校では、今年度から新たに異年齢集団の「たてわり班」を編制しました。月に1回程度たてわり班遊びを行いました。6年生がリーダーとなり遊びを考えたり話し合いを進めたりしました。上級生は下級生に対して思いやりの気持ちで接し、下級生は上級生に尊敬の気持ちをもって協力する場面が多く見られました。

2月26日(金)3・4校時に「6年生を送る会」があり、その後の給食は、たてわり班で食べました。給食はお弁当給食にしてもらい持ち運びが楽にできました。リーダーは5年生。6年生はお客さんです。最後に、下級生が書いたお礼の色紙がプレゼントされました。

双方にとって学ぶ機会が多くありました。来年度もたてわり班活動を充実させていきたいと考えています。

平成27年度「人権の花」運動への感謝状

小竹小学校は、東京法務局、東京都人権擁護委員連合会より感謝状をいただきました。